

小中学校のあり方意見交換会 意見・アンケート結果  
(地域住民向け・豊岡会場)

- 開催日 2020年10月13日(火) 19:00~20:20
- 会場 市役所本庁舎 大会議室
- 出席者 地域住民等参加者 39名  
教育委員会事務局 9名
- 意見交換(関連部分のみ・要旨)

意見・質問	回 答
<p>《適正配置》 通学時間は概ね1時間以内で、「遠距離では交通手段の確保が前提」とあるが、遠距離とは具体的にどの位を想定されているのか。 また、再編の枠組みで、「旧市町域内に1校は存続させる」とあるが、通学時間を踏まえたときに、日高の府中と中筋は近いので、旧市町で厳密に1つ残さなくても柔軟に考えることもできるのではないか。</p>	<p>1時間の距離については、仮にバス通学としたとき、時速20km/h程度と考え、距離は20kmと考えている。 旧市町を越えて近隣でも、というご意見については、歴史的背景や、コミュニティのつながり等についても考慮する必要があると考える。また、旧市町域を越えると非常に遠くなる集落も出てくることなども確認しながら検討する必要があると考える。</p>
<p>《適正規模》 ビデオを見て、複式学級というのは、本当に大変だと思った。先生のご苦労もあるし、子どもも、人によってはかなり厳しい状況だとよくわかった。 ただ、今1クラスが、40人学級と言われているが、例えば、参観日に参加しても39人のクラスでは保護者が入り切れない状況を経験してきた。昨今のコロナ問題で少人数学級に見直しをされている中で、そのあたりはどのように検討されたかを教えていただきたい。</p>	<p>過去から文部科学省はずっと少人数学級の効果を主張してきたが、なかなか認めてもらえなかった。今回は、コロナ対策としての視点も含めて要求がされている。少人数学級については、我々も賛成であり、是非とも早期に実現するように働きかけていきたい。学級に1人の先生がつくことは国や県の予算によるもので、我々は要望することしかできないが、そのように考えている。</p>
<p>《その他》 審議会について、委員の構成とどのように選出されたかを教えて欲しい。</p>	<p>審議会の委員は18人で、構成は、地域の代表として区長協議会長や学校評議員、学校園のPTAや保護者の代表の方、学校園の先生、子育てセンターの方などである。選任にあたっては、地域や団体に相談したほか、基本的には各地域から万遍なく入っていただくように調整をした。市ホームページに審議会の委</p>

	<p>員名簿や会議録等も掲載しているので、参考にご覧いただきたい。</p>
<p>《その他》</p> <p>テレビで若者の移住を推進して学校を残す事業を進めている自治体の紹介があった。豊岡市では、幼保の問題も含めてだが、少子化の問題と、若い世代が定着する、住み続ける地域社会をどのように対策されているかを伺いたい。</p>	<p>若者の移住・定住について、高校を卒業して都会に出ていった若者が、男性は半分くらいしか帰ってこない、女性はもっと極端に少ないという状況である。女性にも帰ってきてもらえるような魅力的な街にならないと、これから子どもが減っていく一方だと考え、ジェンダーギャップの解消に重点を置いて、女性が帰ってきてやすい環境づくりのため、市役所はもちろん、企業や地域の方にもお願いしながら、女性の方が働きやすいまち、子育てをしやすいまちを目指して、女性も活躍の場がもてるように取り組んでいる。成果が表れるまでに時間がかかるかもしれないが、マスコミなども取り上げ始めており、これから成果が上がってくるのではないかと期待している。皆様からもご支援いただきたい。</p>
<p>《その他》</p> <p>再編の枠組みの中で「小学校は原則同一中学校区とする」とあるが、豊岡小学校は豊岡北中と豊岡南中に分かれて進学している。これは、私たちがいたそのさらに昔から続いていて、大規模校であった時代の名残であるが、現在でもその制度を適用することが不思議だということを、若いお母さんからも、ご年配の方からもお聞きする。</p> <p>中学に行くと分かれるので寂しいという学校に行きたくないという子もいるようだ。同じ小学校区で中学校にはそのまま行かせてやるのが普通だというのが市民の想いだと思う。これまで、どのように検討をされてきたのか。今後検討されるのであれば、早い時期にしていきたい。保護者から心配されている状況を聞いている。ぜひそのことについて取り組んでいただきたい。</p>	<p>前回、保護者向けの意見交換会でも同じ意見をいただいた。今のような意見を個別にはお聞きしているが、PTAや区長協議会などからのまとまった、意見としてはいただけてはいない。</p> <p>一番大事なのは子どもにとってどうなのかであり、子どものことを中心に検討させていただく。審議会にも、ご意見をいただいたことを報告するが、別の協議の場が必要になるのではないかと考える。ご意見についてはよく理解させていただいている。</p>

<p>《その他》 50人に満たない地域住民で、豊岡会場の説明会が終わるということに対して非常に納得がいかない。コロナ禍であっても、子どもたちのことを考えるのであれば、「要望があれば、個別に対応する」ではなく、せめて小学校区ごとにきちんとした説明会を開いて欲しい。</p>	<p>現時点では学校区ごとでの開催は考えていないが、計画を策定するまでに何度も機会を設けてお話をさせていただきたいと考えている。また、計画策定後には、計画のスケジュールに合わせて対象校区別に説明会を開催することとしている。</p>
<p>《学校再編》 統合した場合、一斉に統合するのか、例えば5、6年生は残り1、2年間なので、そのままの学校で卒業させてあげるのがいいのか、そういったことも含めて検討していただければと思う。</p>	<p>統合準備を進めている他の学校では一斉に統合する。残された学年だけだと学校の授業・行事が成り立たなくなることが出てくると考える。ご意見は審議会につなげさせていただく。</p>
<p>《学校配置》 例えば中筋小と神美小と統合する場合、地域のことを大事にするのであれば、できれば真ん中に建てて欲しい。</p>	<p>例えば、耐用年数が長い施設はどちらなのか、再編によって子どもたちが入りきれのなど、今後、施設整備についての議論も出てくると思うが、現時点では、あくまでも子どもたちのために学校は、どうあるべきかということを中心に検討している。 現時点ではどちらの方に持って行くとか、新しく建物を建てるなどまでは協議していない。</p>
<p>《その他》 学校だけの話ではなくて、地域にとって小学校は非常な大切なものである。学校がなくなれば、いろいろな行事や組織なども変化をしないといけない。例えばコミュニティ活動などは、コミュニティがなくなると思うがどのように考えているか。</p>	<p>統合の協議を進めている他の地域でも、コミュニティを統合するという話は上がっていない。むしろ、コミュニティが地域活動を頑張っていこうと、地域で子どもたちの見守りやいろいろな活動を続けたいと意欲を燃やしておられる。 学校を再編しても、コミュニティは引き続き各地域で文化を大切にしながら活動していただくことになると考えており、コミュニティまで統合するものとは考えていない。</p>

## ■アンケートでの意見（要約）

（適正規模・適正配置や再編の枠組みについて）

- 保護者の会に参加したときは、できるだけ存続させて欲しいと思ったのですが、実際通う生徒のことを考えると、存続させることがベストでもないような気もしています。地域で育てていくことも大事ですが、より多くの友達と接していくことで、子どもたちの可能性を広げてくれるとも思っています。
- 中筋・神美・新田地区は一度の再編で決定していくべき。ただ通学方法を安全に。
- 地域より子どもを中心に考えて欲しい。学校で学ぶのは子ども。子どものことを考えて。最低限の人数は10名程度でもいいのでは。
- 極端に少ない状況では、早急な学ぶ環境の確保が必要だと思います。
- この際、豊岡の真ん中に1つ、町のような小中学校を建ててみてはどうでしょうか。大学のように、子どもが主体的に学べる、今の学校とは違って、100年後も続くような子供主体で学べる学校。まずは環境づくりが大切だと思います。
- 複式学級の実態が大変なことは分かりました。しかし、コロナ禍で少人数学級が見直されているので、合併でクラス人数がいっぱいになることは反対。過疎化・小子化対策に真剣に対応すべきだ。  
地域コミュニティの拠点である学校施設は保存すべきと思います。

（複式学級）

- （複式学級は、）子どもたちの集中力がもたないのでは。

（その他）

- 統廃合後の廃校舎の活用について、地域コミュニティと市とで協議するとか、通学バスなどの対策もしっかりご検討ください。
- 地域にとって小学校は大切なものです。無くなるといろいろな組織、行事を変化させねばなりません。保護者だけでなく地域の人々の意見も聞いて欲しいです。
- 「豊岡小学校が2つの中学校へ」という課題はもっともだと思いました。早く解決すべきことかと思えます。